集水ポラコンパイプ

Kシリーズ

Kシリーズの特徴

1 グラウンドコンディションを整えます。

Kシリーズはぬかるみを防ぎたい地面全体の地下水を均等に集水･排出します。

2 重車両に対応した構造です。

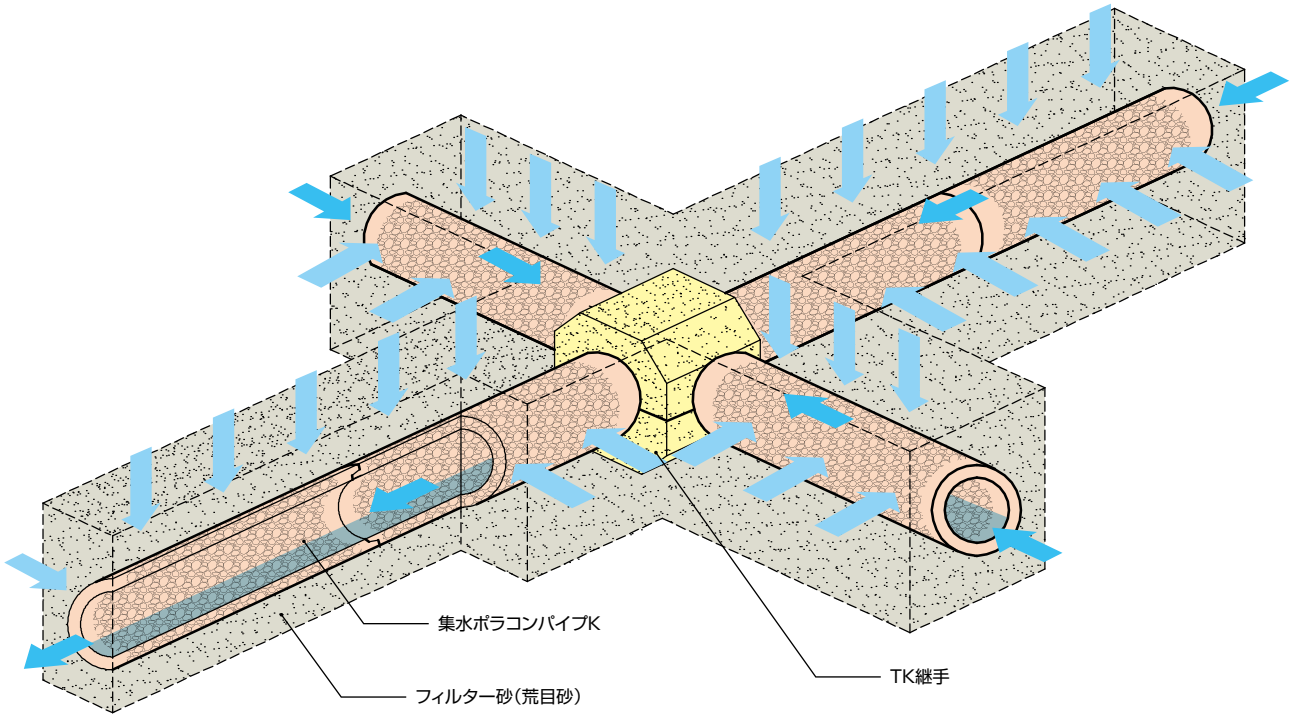
土被りの厚さによって変わりますが、重車両(T-25)に対応した構造にすることもでき、一般車両･重車両用駐車場やグラウンド等、さまざまな場所での使用が可能になりました。

共通の特徴

1 ぬかるみを防ぎます。

当社の集水ポラコン製品は、降雨によって地中に浸透した雨水を集水し、排水施設へとすばやく排水します。この集水･排水機能によって、グラウンドなどで問題となっている土表面のぬかるみを防ぐことができます。

構造概要

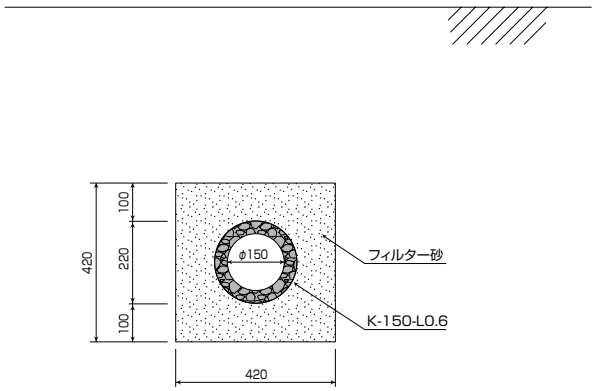


集水ポラコンパイプ

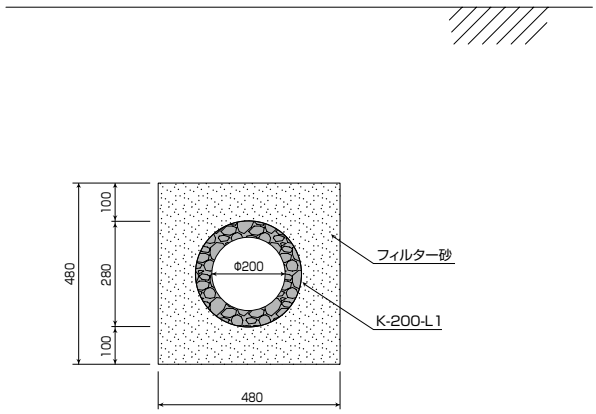
Kシリーズ

参考施工断面図 単位mm

●K-150



●K-200

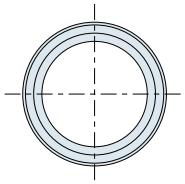


製　品　図 単位mm

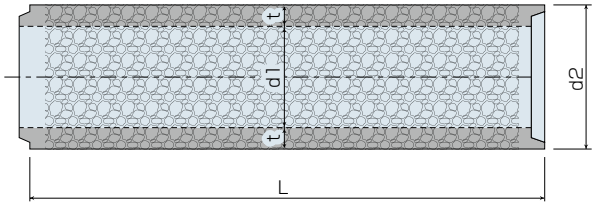
●ポラコンパイプK

接続部がインロウ継手(凹凸)になっており、配管や布設が容易に行え、製品間のズレを防止できるようになりました。また、専用の蓋･継手(P.160)もあり、集水機能を損なうことなく施工が行えるようになりました。

〔正面図〕



〔側面図〕



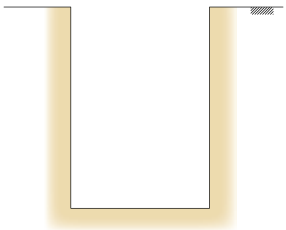
呼び名	寸　法(mm)				参考質量
	d1	d2	t	L	(kg)
K-100-L0.6	100	160	30	600	15
K-150-L0.6	150	220	35	600	25
K-200-L1	200	280	40	1000	61
K-300-L1	300	400	50	1000	111

Kシリーズ

施　工　手　順

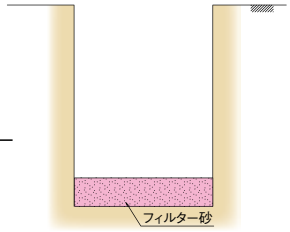
1 掘削工

①掘削は小型掘削機械により行い、崩壊性の地山の場合は土留工を施します。



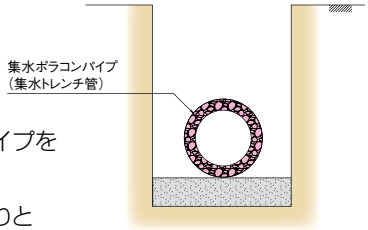
2 フィルター工

①掘削完了後、掘削底面にフィルター砂(荒目砂)を敷均します。
②フィルター砂は水締め等で十分に締固めます。



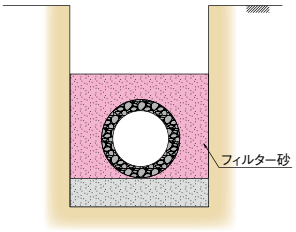
3 据付工

①敷砂上に集水ポラコンパイプを据え付けます。
②端部のジョイントをしっかりと差込みます。



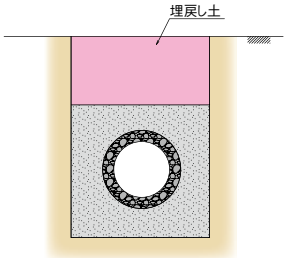
4 フィルター工

①フィルター砂(荒目砂)を充填します。
②フィルター砂は水締め等で十分に締固めます。



5 埋戻し工

①フィルター砂の上に掘削土を埋戻します。
②埋戻しの転圧はプレート転圧等の極度の圧がかかりにくい機械で行って下さい。

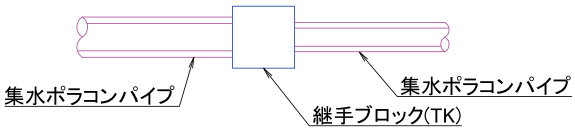


6 施工完了

(お気づきの点がございましたら、お気軽に当社までご連絡下さい)

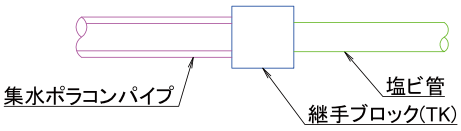
◆◆◆集水管の接続について◆◆◆

集水管＋集水管の接続(異径管接続の場合)



継手ブロックを使用してください。
継手ブロックの開口部に浸透管を接続しますが、集水管の口径が異なる場合は大口径サイズの継手を使用してください。小口径側に隙間ができますので、モルタル等を充填してください。

集水管＋塩ビ管の接続



継手ブロックを使用してください。
継手ブロックの開口部に浸透管を接続しますが、塩ビ管側に隙間ができますので、モルタル等で充填してください。

施　工　歩　掛

(10mあたり)

製品名	製品質量(kg/本)	世話役(人)	特殊作業員(人)	普通作業員(人)	トラッククレーン(hr)
K-100-L0.6	15	0.3	0.3	0.7	—
K-150-L0.6	25	0.3	0.3	0.7	—
K-200-L1	61	0.2	0.1	0.4	2.4
K-300-L1	111	0.2	0.1	0.4	2.4

(注)　1.歩掛は、運搬距離30m程度までの現場内小運搬を含みますが、床掘り、埋戻し、残土処理およびフィルター砂の材工は含んでおりません。
2.諸雑費(コンクリートカッター運転経費、パイプ損失分の費用、カッターブレードの損耗費)は労務費及び機械運転経費の合計に31%を乗じた金額を上限として計上してください。